



さつき

2016年新春題詠

選歌投票をお願いします



- ★投票の持ち点は10点だよ。
- ★お気に入りの歌には2点まで入れられるよ。
- ★メール・郵送の投票は番号と上の句を記入してね。

◆新春題詠とは

年に一回に、「かばん」の正会員・購読会員から短歌を募り、新年号に無記名で掲載して、皆で出来栄えを競い合います。今年力作が七十四首（！）も集まりました。

◆選歌投票のお願い

年に一度のイベントです。皆様ふるってご参加ください。
投票できる人

正会員・購読会員だけでなく、この新春題詠に関心を持つてくださる全ての方。

◆投票の方法

①投票フォーム・かばんwebにリンクがあります。

②メール・件名を「新春題詠投票 氏名」としてください。

③ハガキ・ネットやメールが使えない場合のみ
〒195-0054 東京都町田市三輪町 136-1-101 澤田順 宛
kabanutakai@gmail.com

- 1 さつきから日の入りの話をしている 入るんだ、こうやって、熱くて。
- 2 幻聴がふれいんぐなうさつきから蟬に追われて「もう秋なのに！」
- 3 さつきから彗星の音がするみたい 膝を抱いたまま眠りこむ神父

メール・郵送による投票の際は、歌の番号だけでなく、必ず詠草の上句を転記してください。

（できたら、歌に関する簡単なコメントも付けてください。）

◆持ち点は10点

持ち点は10点。お気に入りの歌には2点まで入れられます。例えば、特に気に入った歌が2首あるときは、2点歌が2首で4点、残り6点は1点ずつ他の歌に投票。合計で10点になるようにする。1点ずつ10首にふりわけてももちろんかまいません。必ず10点全部を使ってください。

◆締め切り

2016年1月21日（木） 30時

◆結果発表

投票結果は1月31日（日）の歌会で発表され、「かばん」3月号にも掲載されます。楽しみにお待ちください。



- 4 図書館で沼を見つけたさつきから飛び込む人の本が散らばる
- 5 さつきまでツライ思いがおぶさっていたのだけれどポッキーねぶる
- 6 さつきっていつまでだろう平成の保育園舎が灯を落とす道
- 7 ついさつき禍々しき剣払いのけ間合いを量る侍ミフネ
- 8 さつきまで未来の今日の朝のこと君がしきりに手をふっている
- 9 監督に「さつきの寝癖良かった」と言われてあたし悪に堕ちたの
- 10 ついさつき／凍る星から／帰ってきた／カメラを忘れ／発ってしまった
- 11 さつきまで雨が降ってた今霧が地を包みつつただ上りゆく
- 12 こんなにも二人だナニヨサクノデンワオトコデシヨナイテバカリデ
- 13 「ついさつき火星人が家に来て求婚されたの」白昼夢かな
- 14 さつきまでいなかった人がいるだけで生活音がやわらかくなる
- 15 さつきまで納豆食べてたその口でキスをせがむのやめてくれない！
- 16 さつきまで熱だったものトロピカル、違う、違うなとろけてひかる
- 17 さつきまで隣に立っていたのにね スパッと切ったような半月
- 18 後ずさりする人の波 ひとりとは会話に「さつき」の出てこないこと

初句が似てる歌が多いよ

選歌投票のときまちがえないでね





- 19 賛美歌を歌うふりしてたのはいつ、さつき？ 進行形の憎しみは針
- 20 ついさつき泣いていた子が空にいてオレンジジュースを虹にわけてる
- 21 さつきから鳴り止まないの耳鳴りが一番星をつぶしたせいで
- 22 それうさぎ？ ううん、セーター。さつきまで寝ていた顔でさよならをする
- 23 モザイクのさつきのこどもは天使ではなく 核兵器は消耗品です
- 24 さつきからずっとストローの袋をもんで もしかしてそれ鳥になるの？
- 25 さつきまで当たっていたの薄すぎたひかり奥歯にからみとれない
- 26 生涯に言いだせなかった一言で翼が重い「さつきはごめん」
- 27 散りにけり一閃の花橘の香の我が胸にさつきのおまへ
- 28 ^水Wednesdayの読まれない d 摘みとり「さつきはごめん」って不燃ごみの日
- 29 さつき出来た青い星でもうごちやごちや喧嘩始めやがった うちゆうより
- 30 さつきまで雲の間に^{あわい}潜んでた金鳥が抱く窓際の猫
- 31 さつき迄影踏む如く燥ぎしラッキーももう道の端^はで係絡されたり
- 32 ピピネラをリクエストしたさつきまでエフエムココロ忘れていたよ
- 33 輝きに釣り合う弱ささつきまでいたコンビニの闇夜の光



- 34 きみはなんにもなくささないからいいえさつきあなたをなくしたばかり
- 35 さつき君のくれた言葉を口に入れ噛んだら消えてしまうキャラメル
- 36 ああ、さつき下駄箱の上のこけし二体倒してきたのは私ですのよ。
- 37 手の上のすくった水に宿る陽をこぼしてさつきまでの平生へいせい
- 38 さつきから猫が見上げる部屋の隅私は見ない感じもしない
- 39 さつきまで触れてみた指うつくしく境界線をほらひいてゆく
- 40 夕空にさつき流れた音楽の消えたところではじまる家族
- 41 さつきまでおなじ光を見てたのに 五月さつきの空はいつも高くて
- 42 ハイドンの「皇帝」を聴くゆくりなく さつきの てがみの ごようじ なあに
- 43 こぼれさる さつき さるとき さらにさらともりてひとのさだめうつせり
- 44 さつきね、とさつきのことを聞かされているうちに遠くなりゆくさつき
- 45 さつきから底で動かぬ黒い貝同じ深度で我が内に棲む
- 46 さつきから深深と雪一月は号泣をするときを与えぬ
- 47 「さつきまで確かにそこに、」 マジシヤンの朝焼け灯す遺族の瞳
- 48 太陽から夢の木枯し吹いてくるさつき生まれた粘菌たちへ



49 蠟燭の雫が繭が花の実が語るさつきは存在しない

50 飛ばし飛ばし覗くあしたもあさっても予知夢にさつきのカレーが匂う

51 夕闇の広場に並び立つ兵士「彼らは生きていたのださつきは」

52 見て 空にパパとママだよ パパとママとさつき見ていたあたしの影だ

53 さつき殺されたのだからやまにみとれている前にわたしのなみだよながれなさい

54 さつきまで頬紅くして泣いていてわたしの背丈を追い抜いていく

55 さつきから橘くんが待つとるぞ出てこいみどり容疑は晴れた

56 今さつき前をとおった角の家、の犬のいとこがオレン家の犬

57 降ってきた。さつき手ぶらで出ていったあなた、頭がずぶぬれだよ

58 さつきから玩もてあそんでるチケットを君は捨てない 進むのでしよう

59 「好き」はもうさつき聞いたよその先の燃え上がる核心を見せてよ

60 助けてと電話していたさつきまでまことの母の匂いに酔った

61 さつきまでジンベエザメの腹筋であった記憶をたどり、世界へ

62 食べたのは手紙じゃなくて時間だね やぎさん郵便 永遠のさつき

63 君なんて石を投げたら当たった子なんかさつきとちがう顔だね



- 64 「さつき」とは失ふものを知り尽くす我よと思ふ閑散として
- 65 誰からも見つけられずにさつきまで底に沈んでいたゆで玉子
- 66 さつきから窓をたたいている虫の未来を変えてしまいましょか
- 67 さつきから枕代わりにされている肩をそのまま低反発に
- 68 言葉だけの街でひたすら待つ夜明けさつきの楽器で色は塗らない
- 69 さつきまで路上灯してたソロギターもある響きは雑踏に溶け
- 70 さつきまで常世を巡っていたようなヴィオラの音に連れられてゆく
- 71 さつきまで思ひ浮かばなかったのにたしかかな春が綴られてゆく
- 72 秋風は神の衣擦れ さつきまでここにゐたあなた攫ひ去りたり
- 73 厭というわけじゃないけどちっぽけなさつきが足にまとい付くんだ
- 74 なんでもないので微笑んでるきょうのきみ 机は「さつき」に囲まれている



おもしろい歌がいっぱい

投票、すごく迷っちゃう

